

展示室 1 a 没後130周年 牧野伊三郎

2025年11月5日(水)から2026年3月29日(日)

○印は2026年1月18日(日)まで、●印は2026年1月20日(火)から展示／＊印は寄託作品

岐阜県中津川市出身の牧野伊三郎(1870-1895)は、18歳頃に洋画家を志して上京しました。画塾不同舎で小山正太郎に師事し、中村不折や岡精一らと共に学びました。その後、明治美術会通常会員となりますが、胸を患い、わずか24歳で亡くなりました。本展示では、生誕155年/没後130年の記念の年として、初期の素描と丁寧に描き上げられた油彩により、洋画に捧げた牧野の真摯な視線に迫ります。

[illegible]

不同舎の師と同門たち					
こやま しょうたろう 小山 正太郎	1857-1916	○	のづちゅうじょうせいせきかん す めいじびじゅつかいとうじょうかいいん 野津中将青石関ヲ過ク(明治美術会通常会員によ る画帖『小宴紀念』より)	1894	水彩、ペン、紙
あさい ちゅう 浅井 忠	1856-1907	○	がちょう しょうえんきねん 王師入遼東(明治美術会通常会員 による画帖 『小宴紀念』より)	1895	水彩、ペン、紙
ほんだ きんきちろう 本多 錦吉郎	1850-1921	○	の じ きめ 野路のむら雨(明治美術会通常会員 による画帖 『小宴紀念』より)	1895	水彩、紙
なかむら ふ せつ 中村 不折	1866-1943	●	らふりつぞう 裸婦立像	1903	油彩、画布
かの こ ぎ たけしろう 鹿子木 孟郎	1874-1941	●	かも が わ 賀茂川		油彩、板
あ お き しげる 青木 繁	1882-1911	●*	うみ 海	1904	油彩、板